



知的財産権を活用した 資金調達支援サービス

貴社の強みは資金調達の審査で評価できるものになっていますか？
VC等からの資金調達、IPOの審査、助成金審査では、
貴社の事業計画にある貴社事業の商品・サービスの強みが評価されます。
また、強みへの参入障壁の有無や、
他社の権利に抵触していないかについても、問われます。
知的財産権を活用した資金調達の成功を支援します。

強み

×

事業
計画

×

知財

= 資金調達力

【ビジネスモデル、クラウドサービス、アプリ、ブランド、デザイン】

対象 このような企業様に喜ばれているサービスです

✓
VCやエンジェル
からの資金調達を
したい

✓
モノづくり補助金
等の補助金、
助成金を受けたい

✓
他企業やエンジェ
ル投資家からの投
資を受けたい

✓
IPOを
視野に入れている

メリット

資金調達の成功率が高まる

自社の強みが外部から評価されやすくなる

出願・権利化により、事業計画遂行の説得力高まる

他社の知財リスクを把握でき、事前に対策が立てられ、高い外部評価が得られる

他社の事業化されていない情報を知ることができ、開発力が高まる

サービス内容

貴社の強み
ヒアリング

強みの源泉
となる
知財を特定

他社知財
リスク調査・
対応

強みに対する
知的財産権取得

知的財産権を
資金調達等に
活用

弊所事例（一部）

● 事例-1

アプリ系ベンチャー、特許成立前から特許出願をVCにPRし、1億円の資金調達に成功、その後、さらに特許と商標を固めて、大手企業に事業売却、事業売却の際に特許権・商標権が大きく貢献

● 事例-2

知的財産権を活用してライセンス契約、ライセンズ契約が評価されマザーズ上場、上場後も新規ライセンス契約を株主に告知してPR

● 事例-3

デジタルサイネージ事業を行うベンチャー、市場優位性がある機能についての特許が事業計画の実現性判断で高評価され、VCからの資金調達に成功

● 事例-4

健康機器開発メーカー、日本特許が成立していることが評価され、東京都が実施している外国特許出願助成事業より400万円の助成を受ける

我々がサポートします！

IPP国際特許事務所 顧問 時政 和宏

「これまで数多くのIPO準備会社、証券会社、VC等に対してIPOに向けた助言やアドバイスをおこなってまいりました。今後は、ITベンチャー・スタートアップへの知財業務支援を行うIPP国際特許事務所の顧問の立場から優良なベンチャー企業のIPOやEXIT実現のサポートに尽力してまいります。今後、アナログからデジタル化への転換に向けた迅速な対応が大きな課題となっています。これまでのIPO支援の経験を最大限に活かしつつ、ベンチャー・中小企業の資金調達を支援していきたいと考えています。

和光証券（現みずほ証券）入社後、1999年デジタル情報産業部を創設し、IT・インターネット企業を中心にIPOの引受業務に邁進。ボーダーフォンのTOB等を指揮すると共に、みずほ証券のIPO部門を牽引。渋谷支店長等歴任後、2014年SBI証券常務取締役としてIPO部門を管掌。2020年7月、時政事務所を設立。

IPP国際特許事務所 所長 弁理士 松下 昌弘

多くの企業の知財業務に係わり、数々の成功する企業と失敗する企業の実態を目の当たりにする。その中で成功している企業には、ある共通点があることを発見する。知財業務で「勝ち組企業」に変える知財戦略コンサルタント。IPO・VCからの資金調達を知財面から支援した多数の実績がある。各種協会、企業、大学でのセミナー公演200回以上
詳しくはこちら

<https://ippjp.com/matsushitaprofile.pdf>

IPP国際特許事務所 所長
日本弁理士会 会員、アジア弁理士会 会員
国際商標協会INTA 会員
企業法務知財協会 会長
模倣防止協会 会長
日本薬科大学 客員教授
<学歴>
早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻

松下 実務 経歴

- ① 上場準備中の多数の企業を支援
※直近6年で顧客5社が上場
- ② 1部上場IT企業の発明発掘業務
※1部上場IT企業は発明報告書件数を3倍にアップ
- ③ ITベンチャー企業の知財部門立ち上げ業務
- ④ IT中堅企業の他社特許リスク回避業務
- ⑤ ジャスダック上場企業の国内・外国の知財権利化、中国模倣品取り締まり・訴訟対応業務
- ⑥ 中堅設計事務所（年商120億円）の知財部門立上支援
- ⑦ 1部上場美容機器製造販売企業の知財部門立上支援